

2019年度

(第57事業年度)

事業報告書

公益財団法人 マリンスポーツ財団

目 次

一 般 概 況	1
---------------	---

第1章 事 業

I 公益事業

1 マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業	2
2 マリンスポーツの水上安全啓発事業	6
3 マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と 水上オートバイ専用施設の運営管理事業	10

II 収益事業

1 二色の浜公園の運営管理の付帯事業	12
2 特殊小型船舶操縦講習事業	13
3 マリンスポーツ施設の運営事業	14

III その他継続事業

1 マリンスポーツ競技等の環境整備事業	15
---------------------------	----

第2章 組 織

1 理事会及び評議員会	19
2 役員等の動向	20
3 監査等	20
4 関係団体との交流	20
5 環境に配慮した活動	20
6 職員等の動向	20
別表1 役員名簿	21
別表2 評議員名簿	21

参 考 資 料

1 マリンスポーツ競技に係る講習会、登録状況	22
------------------------------	----

事業報告

(第57事業年度)

2019年4月 1日から

2020年3月31日まで

一般概況

当財団の2019年度の諸事業は、関係各位の多大なる協力のもと、所期の目的を達成して、ここに終了した。

水辺の事故は相変わらず後を絶たず、シーズン中には多くの痛ましい水難事故の報道を見かけるものの、一方では自己防衛策の「背浮き」や「ライフジャケットの着用」など、水辺の安全に対する関心の高まりも感じることができた。

水辺離れの傾向にあったマリンスポーツは、ミニボートやスタンドアップパドルボード(SUP)など手軽に楽しめるアクティビティーが人気となり、水辺活動にも新たな兆しが見え始めてきた。

当財団では、「日本の水辺環境の『進化』と『親化(しんか)』」を合言葉に、より多くの人々が安心して水辺に親しむことができるよう、国内外の関係機関と連携し、水辺の安全性の向上と水難、海難事故の防止に重点を置いて事業を遂行した。

主たる事業としては、「いつでも・どこでも・だれもが」安全、快適に水辺の余暇を楽しめるよう、特に指定管理施設を中心に水辺の安全教育等による啓発活動を行うとともに、マリンスポーツアクティビティーの体験型イベントを通じてマリンスポーツの普及を図った。

また、公的機関等に対する安全運航講習会や救助技術講習会を行うとともに、海上保安庁をはじめとする水上安全関係機関・団体と連携、協調して事業を推進するなど、災害時における基本的行動の「自助」、「公助」、「共助」を軸として、安全意識、事故防止対策の向上を図った。

指定管理施設の大阪府営二色の浜公園、横須賀市立ボートパーク(深浦・浦賀)、新潟県柏崎市みなとまち海浜公園の管理業務においては、イベント等で周辺住民の施設運営への理解を深めるとともに、利用者に対してはルール・マナーの啓発を行い、施設の適正な運営管理を行った。

2020年2月、新型コロナウイルスの感染拡大により、マリンスポーツシーズンの幕開けイベントである“ジャパンインターナショナルボートショー2020”が中止となり、3月に予定していた当財団の理事会も感染予防対策として、書面決議での対応となるなど、財団運営にも影響を及ぼした。

第 1 章 事 業

I 公益事業

1. マリンスポーツを健全で安全なものとして普及する事業（公益事業 1）

本事業では、関係官庁、自治体、公益団体等との共催・協力のもと、安全意識を高めるためのマリンスポーツ体験イベントや、水辺の安全教室等を開催し、多くの参加者に対してマリンスポーツの魅力を体感させることができた。

指定管理施設におけるイベントでは、マリンスポーツの魅力を伝えるとともに、水辺のルール・マナーや安全、環境保全に関する啓発を行い、周辺住民に施設管理活動に対する理解を深めた。

また、水難事故防止対策としての「WEAR IT プロジェクト」や「ライフジャケットレンタルステーション」を継続かつ積極的に推進し、ライフジャケットの重要性周知に努めた。

(1) マリンスポーツを通じた親水活動の推進事業

① 親水イベントの開催・支援

a. 親水イベントの開催支援・協力

(a) 横須賀うみかぜカーニバル2019 in 観音崎海岸

実施期日	6月9日（日）
実施場所	神奈川県横須賀市 観音崎海岸
実施内容	・体験操船 セイルカヌー、SUP、BIGSUP カヌー、ディンギー ・体験教室 SUPヨガ、ビーチヨガ
参加人数	234名

(b) 横須賀うみかぜカーニバル2019 in うみかぜ公園

実施期日	7月20日（土）・21日（日）
実施場所	神奈川県横須賀市 うみかぜ公園
実施内容	・体験操船 カヌー、BIGSUP ・体験乗船 水上オートバイ、バナナボート ・水上オートバイツーリング
参加人数	291名

(c) 横須賀うみかぜカーニバル2019 in 海辺つり公園

実施期日 8月2日(金)
実施場所 神奈川県横須賀市 海辺つり公園
実施内容 ・うみかぜ釣り大会
・水辺の安全教室
・ライフジャケットデモンストレーション
・横須賀海上保安部特設ブース 等
参加人数 17組48名

(d) 横須賀うみかぜカーニバル2019 in 深浦ボートパーク

実施期日 9月1日(日)
実施場所 神奈川県横須賀市 深浦ボートパーク
実施内容 ・体験乗船
モーターボート、ヨット
・体験操船
スーパーキッズボート
・ライフジャケットデモンストレーション
・横須賀海上保安部特設ブース 等
参加人数 228名

(e) FUN To Marine Sports × TOYOTA SOCIALFES

実施期日 9月22日(日)
※21日に予定していたが台風21号の影響により、翌22日に「NISHIKINOHAMA BEACH FES 2019」との併催にて実施
実施場所 大阪府貝塚市 二色の浜公園
実施内容 ・体験乗船
水上オートバイ、
・体験操船
スーパーキッズボート、カヌー、ウインドサーフィン
SUP、BIGSUP
・体験教室
SUPヨガ、ビーチヨガ
・パラカヌーデモンストレーション
加藤隆典選手を招聘
参加人数 161名

(f) NISHIKINOHAMA BEACH FES 2019

実施期日 9月22日(日)

実施場所 大阪府貝塚市 二色の浜公園

実施内容

- ・体験乗船
水上オートバイ、
- ・体験操船
スーパーキッズボート、カヌー、ウインドサーフィン
SUP、BIGSUP
- ・体験教室
SUPヨガ、ビーチヨガ
- ・ビーチクリーン (TOYOTA SOCIALFES)
- ・ダンスステージイベント 等

参加人数 293名

(g) マリンスポーツ実習体験乗船会

海洋高校のマリンスポーツ教科の一環として実施されるマリンスポーツ体験実習において、水上オートバイと小型船舶講習艇による免許教習体験を次のとおり実施した。

実施期日 7月23日(火)・24日(水)

実施場所 新潟県糸魚川市 弁天海岸・能生漁港

実施内容

- ・教習体験
ボート、水上オートバイ
- ・体験操船
カヤック、SUP

参加人数 76名(1年生2クラス)

b. 共催、協カイベント

期 日	行事名称	場 所	参加者数	前年度
5/18-19	マリンスポーツフェスタ in 碧南 (共催:(公社)日本モーターボート選手会)	愛知県碧南市 (常設訓練所)	468	774
5/26	Marine Sports Festival in 隅田川 (共催:協同組合浅草商店街連合会)	東京都台東区 (隅田川)	262	334
7/15	「いずみさの関空マリーナ」海洋体験 (主催:泉佐野ウォーターフロント(株))	大阪府泉佐野市 (いずみさの関空マリーナ)	72	64
8/31- 9/1	海と日本プロジェクト in 浜名湖 (主催:海と日本プロジェクト浜名湖 実行委員会)	静岡県湖西市 (ボートレース浜名湖)	132	—
合 計			934	1,172

② 「WEAR IT」(ライフジャケットの着用)活動の推進

a. 「WEAR IT ライフジャケット着用推進月間」キャンペーンの実施

ライフジャケットの必要性や、溺水事故防止を目的とするライフジャケットの常時着用を呼びかけるキャンペーンを複数月間に亘り実施した。期間中は、全国各地でのライフジャケット着用イベント開催、告知サイト・SNS の利用、大手釣り具販売店等との連携等により多くの人に対しライフジャケット着用の啓発に努めた。また国土交通省海事局、海上保安庁他、多くの関係機関、団体の協力を得ることができた。

実施期間 5月18日(土)～7月31日(水)
 実施場所 東京都江東区 東京海洋大学越中島キャンパス
 東京都台東区 隅田公園
 神奈川県逗子市 逗子海水浴場
 愛知県碧南市 勤労青少年水上スポーツセンター
 福島県いわき市 アクアマリンパーク
 その他全国各地
 参加人数 3,758名

b. ライフジャケットレンタルステーションの設置

海水浴場等においてライフジャケットの無料貸し出しを行い、ライフジャケットの有効性周知と安全意識の向上を図った。

	設置場所		利用者数	前年度
1	神奈川県逗子市	逗子海岸海水浴場	2,700	1,887
2	静岡県湖西市	新居弁天海水浴場	169	100
3	静岡県浜松市	弁天島海水浴場	90	219
4	神奈川県鎌倉市	由比ガ浜海水浴場	58	14
5	神奈川県鎌倉市	材木座海水浴場	114	369
6	神奈川県鎌倉市	腰越海水浴場	53	1
7	神奈川県藤沢市	片瀬東浜海水浴場	3	5
8	神奈川県藤沢市	片瀬西浜海水浴場	18	20
9	神奈川県横浜市	海の公園 海水浴場	67	53
10	兵庫県神戸市	須磨海水浴場	388	292
11	神奈川県茅ヶ崎市	サザンビーチちがさき	194	315
12	神奈川県足柄下郡	湯河原海水浴場	200	-
13	福島県相馬市	原釜尾浜海水浴場	22	59
14	神奈川県平塚市	湘南ひらつかビーチパーク	5	5
※15	新潟県聖籠町	網代浜海水浴場	13	-
※16	京都府宮津市	天橋立海水浴場	67	-
※新規	合 計		4,161	3,339

③ マリンスポーツ関連器材の貸出し

a. イベント等での利用

スーパーキッズボート、無線機、ライフジャケット、AED他

b. 特殊小型船舶免許の講習会、国家試験における利用

水上オートバイ

(2) マリンスポーツ施設を活用した一般利用者に対する安全啓発事業

① 海浜公園における安全啓発（受託事業）

柏崎市の受託施設において、利用者への指導や施設等の適正な運営を行った。なお柏崎市の当該施設運営管理形態の変更により、施設管理業務の受託は本年度をもって終了した。

実施場所 新潟県柏崎市みなとまち海浜公園

実施時期 2019年4月6日～2020年3月30日のうち132日間

業務内容

- ・海岸入場口の管理
- ・マリンスポーツ交流センター（管理棟）の管理
- ・海岸エリアの監視
- ・利用者へのルール、マナーや安全指導

利用状況 過去5年間における当施設の利用状況は表のとおり

区 分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
登録数（隻）	0	69	37	35	56
登録車両（台）	0	55	56	58	61
利用者（名）	0	230	370	393	405

※1日30隻に限定して利用

※2015年度は水深が浅く、安全確保の為水上オートバイの利用を禁止した。

※本事業は2007年7月に開始し、2020年3月で終了した。

2. マリンスポーツの水上安全啓発事業（公益事業2）

(1) 小型船舶の安全運航及び水上安全の普及啓発

当財団の内部組織である安全運航教育機関K38 JAPANにより、米国の公的機関向けプログラムによる講習会や、公的機関に対して安全運航教育等を行った。

① 小型船舶の公的利用における安全運航講習会

（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会、（一社）日本小型水難救助艇協会との連携プロジェクトであるJPBOT (Japan Professional Boat Operator Training center) の、小型水難救助艇操縦士（RWC：水上オートバイ・IRB：膨張式救命ボート）の資格認定講習会を実施した。

RWC・IRB講習会

期 日	講習種別	場 所	受講者	受講者数
10/12-14	RWC ステージ 1～3	北海道砂川市	免許試験員等	4
10/23-25	RWC ステージ 1～3	大阪府貝塚市	消防士等	8
11/7-8	IRB ステージ 1～3	群馬県神流湖	消防士等	3
1/29-31	RWC ステージ 1～3	沖縄県沖縄市	消防士等	11
合 計				26

SUPインストラクター講習会

期 日	講習種別	場 所	受講者数
6/3-4	ACA SUP インストラクター認定コース	神奈川県横浜市	7

② 安全講習会

期日	講習種別	場 所	受講者	受講者数
5/8	安全運航教育	広島県呉市 (呉海上保安大学)	呉海上保安大学校学生	60
5/21	PWC研修	大阪府貝塚市 (二色の浜公園)	運輸安全委員会調査官他	9
5/22	トーイング研修	大阪府貝塚市 (二色の浜公園)	運輸安全委員会調査官他	10
7/5	PWC研修	京都府舞鶴市 (舞鶴海上保安学校)	第八管区海上保安本部員他	24
9/12	安全運航講習	北海道小樽市 (小樽水産高校)	小樽水産高校生徒	38
合 計				141

③ マリンスポーツにおける安全管理体制の整備、強化

期 日	内 容	場 所
4/13	広島ボートショー レスキューデモンストレーション	広島県廿日市市
4/14	パワーボート都連シリーズ第1戦 救助体制	茨城県神栖市
5/18-19	パワーボートレース in 小豆島 警戒、救助体制	香川県小豆島
6/9	パワーボート都連シリーズ第2戦 救助体制	茨城県神栖市
6/17	みやじま国際パワートライアスロン 安全管理	広島県廿日市市
7/7	NOWS熱海OWS大会 2019 安全管理	静岡県熱海市
7/13-16	東京海洋大学海洋実習 安全管理	千葉県南房総市
7/20	NOWS三宅島OWS大会 2019 安全管理	東京都三宅島

期 日	内 容	場 所
7/20-21	テクニカル全日本選手権シリーズ ROUND2 救助体制	神奈川県横須賀市
8/5	第9回サマーフェスティバル宮島 安全管理	広島県廿日市市
8/11	NOWS三浦OWS大会 2019 安全管理	神奈川県三浦市
9/7-8	湘南オープンウォータースイミングレース 安全管理	神奈川県逗子市
10/6	パワーボート都連シリーズ第3戦 救助体制	茨城県神栖市
11/23-24	テクニカル全日本選手権シリーズ ROUND4 救助体制	千葉県千葉市
12/7-8	芦ノ湖グリーンカップレース 救助体制	神奈川県箱根町

④ 水上オートバイの安全、マナー等向上対策

a. T P S P (Tokyo PWC Safety Project) プロジェクトへの協力

東京港湾区域、運河、河川における水上オートバイの安全で健全な利用の推進を図るため、「東京港・湾・河川における水上オートバイ安全航行プロジェクト (T P S P)」に参画し、一般ユーザー等に対する安全講習会や、水上オートバイによる周辺パトロールを通じて安全指導を行った。

(a) 水上オートバイによるパトロール

実施期日 9月15日(火)

場 所 東京都江東区(夢の島マリーナ周辺水域)

(b) 水上オートバイ安全講習会

講師協力回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	2	1	1	1	2	2	0	1	1	1	0	0	12

場 所 東京都江東区夢の島マリーナ

受講者数 540名(昨年度626名・通算3,945名)

b. 新海上安全指導員制度における協力

海上保安庁が新たに制度化した新海上安全指導員の水上オートバイ指導員向けの活動マニュアルと養成カリキュラムの作成に協力した。

⑤ 水上安全に関する国内外との連携強化

a. I B W S S (International Boating & Water Safety Summit) への参加

2019年3月24日(日)～27日(水)、アメリカ合衆国フロリダ州ジャクソンビルにおいて開催された「第23回インターナショナルボートイング&ウォーターセーフティーサミット(I B W S S)」に日本から当財団職員2名の他、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会から2名、海上保安庁から交通部安全対策課の2名が参加し、国際的な水上安全に関する動向の把握や舟艇事情等の情報収集及び関連

機関との連携強化を図った。今回海上保安庁は3度目の参加となり、USコーストガードや同サミットの主催団体であるNSBC（全米安全運航評議会）をはじめとした国家機関及び水上安全関連団体との情報交換及び関係強化に繋がった。今回の参加により、日本国内の水上安全に対する取り組みの更なる強化を促進する結果となった。

b. 水上安全・安全運航サミット Japan Boating & Water Safety Summit (JBWS S) の開催

当財団、(一社)水難学会及び(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会による連携協議会と、国土交通省海事局、海上保安庁が共催し、水上安全をテーマとして舟艇及び水上安全等に関わる団体が集い、情報の発信と共有、団体間の効果的な連携、協調により、更なる水難の防止、安全対策の向上を図ることを目的に実施した。今年度は米国・英国・タイにて活動する団体の参加もあり、国際的な連携に繋がった。

実施期日 6月8日(土)・9日(日)

場 所 東京都江東区 東京海洋大学越中島キャンパス

主 催 JBWS S連携協議会

参加者 66団体・182名(昨年度:56団体・139名)

⑥ その他安全対策の強化

a. K38 JAPANミーティング

実施期日 3月17日(火)

場 所 東京都中央区

b. 外部会議、調査等への参加、協力

期 日	内 容 (協力先)	場 所
4/12・7/3	小貝川下流域水面利用等協議会 (下館河川事務所)	茨城県取手市他
6/5	カヌー及び SUP の安全運航に係る検証要領及び意見交換会(海上保安庁)	神奈川県横浜市 横浜海上防災基地
6/16	海上安全指導員連絡調整会議 (東京海上保安部)	東京都江東区
6/25	第四管区小型船舶事故防止に係る関係機関連絡会 (第四管区海上保安本部)	愛知県名古屋市
6/28・11/15	日本マリン事業協会PWC部会 (日本マリン事業協会)	東京都千代田区
7/3	利根大堰水面利用者等協議会 (国土交通省下館河川事務所)	群馬県館林市

期 日	内 容 (協力先)	場 所
7/10	第2回釣中における安全対策に係る意見交換会 (海上保安庁)	東京都千代田区
7/26	「海の日」表彰 第3管区本部長賞 海上安全指導員 (国土交通省)	東京都港区
9/13	遊泳中の安全対策に係る意見交換会 (海上保安庁)	東京都千代田区
9/26・10/30 12/4	2020 Port of Tokyo 航行安全推進プロジェクト会議 (2020 Port of Tokyo 航行安全推進プロジェクト)	東京都江東区
10/30	第5回ボーディングジャパン構築団体連絡会議 (日本マリン事業協会)	東京都千代田区
12/18	水上オートバイの安全対策に係る意見交換会 (海上保安庁)	東京都千代田区
12/24	新たな海上安全指導員制度構築に関する委員会・ 作業部会 (海上保安庁)	東京都千代田区
2/7	Tokyo2020 に伴う東京港・中川等航行ルール説明会 (東京海上保安部・TPSP)	埼玉県八潮市
2/17	安全推進アドバイザー意見交換会 (海上保安庁)	東京都千代田区
2/18	新たな海上安全指導員制度構築に関する委員会・ 作業部会 (海上保安庁)	東京都港区

3. マリンスポーツを通じた海浜公園における安全利用と水上オートバイ専用施設の運営管理事業（公益事業3）

大阪府の指定管理施設において、公園管理業務に加え、水上オートバイ利用者への安全に関する指導、周辺海域の監視など適正な運営を行った。

(1) 二色の浜公園の運営管理事業（指定管理事業）

管理期間 2019年4月1日から2020年3月31日

所在地 大阪府貝塚市

管理施設 公園、スポーツ施設管理（野球場、テニスコート他）

水上オートバイ施設、バーベキュー施設

業務内容

- ・各施設の運営及び維持管理
- ・水上オートバイ施設利用者のルール、マナー及び安全指導
- ・周辺海域の監視

① 公園利用状況

a. 公園利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
来園者	76,128	143,180	52,356	61,308	82,556	59,352	45,132	40,668
テニスコート	2,989	841	1,815	1,574	1,069	1,628	2,019	967
軟式野球場	203	350	611	492	1,046	536	654	282
球技広場	763	1,408	1,122	895	290	2,083	1,175	1,105
スポーツ広場	258	270	125	0	0	452	1,036	256

	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
来園者	17,832	23,652	29,860	51,216	683,240	656,956	104%
テニスコート	916	596	794	1,267	16,475	14,567	113%
軟式野球場	140	283	645	364	5,606	4,898	114%
球技広場	1,084	765	1,474	642	12,806	15,409	83%
スポーツ広場	442	0	394	77	3,310	1,588	208%

b. 水上オートバイ専用施設利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
利用船舶	64	209	199	411	467	296	63	34
新規登録	17	20	33	56	46	29	5	3
更新登録	6	20	10	41	31	11	1	0

	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
利用船舶	46	33	21	67	1,910	2,005	95%
新規登録	2	2	2	13	228	245	93%
更新登録	0	0	0	1	121	125	97%

② 施設を活用した事業活動

期 日	行事名称	参加者数	前年度
9/21 (9/22 順延)	FUN To Marine Sports × TOYOTA SOCIALFES	161	142
9/22	NISHIKINOHAMA BEACH FES 2019	293	304
合 計		454	446

II 収益事業

収益事業では、指定管理業務に付随する駐車場、便益施設、船舶保管の運営業務のほか、水上オートバイの免許取得講習会を実施した。

1. 二色の浜公園の運営管理の付帯事業（収益事業1）

大阪府の指定管理施設において、駐車場、バーベキュー施設、売店などの便益施設の運営管理を行うとともに、公園と水辺環境の魅力を体感できる自主事業を推進した。

(1) 海浜公園における駐車場管理・物販事業

実施時期 2019年4月1日から2020年3月31日
 実施場所 大阪府貝塚市（沢、脇浜、海浜緑地）
 業務内容 駐車場、付属施設の運営及び維持管理

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
入場車両	6,916	12,530	4,617	5,576	7,354	5,466	4,149	3,700
野外炉利用者	1,657	3,872	1,879	1,540	1,525	1,141	1,132	571

	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
入場車両	1,615	2,155	2,600	4,714	61,392	58,534	105%
野外炉利用者	0	0	0	462	13,779	13,219	104%

(2) 海浜公園における集客事業

① 公園の魅力・利便性向上の取組み

実施内容 ・BBQレンタル
 ・マリンスポーツ器材のレンタル・水上オートバイ体験乗船
 ・DAYキャンプ、ドッグフリーDAYキャンプ
 実施場所 二色の浜公園（沢地区、海浜緑地）

② 大阪府営公園指定管理業務優良表彰「特別賞」の受賞

本公園が取組んだ、ペットと一緒に楽しめる「ドッグフリーDAYキャンプ」は府民ニーズやペットブームの流れを的確にとらえ、公園の魅力を向上させていることが高く評価された。

利用状況（沢地区）

	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
BBQレンタル	区画	48	232	65	96	282	81	16	820
	人	354	2210	717	871	2077	627	150	7,006
マリンスポーツ器材レンタル	人	—	67	0	45	133	47	1	293
DAYキャンプ	区画	14	49	15	37	88	17	10	230
	人	97	327	97	232	622	117	70	1,562

利用状況（海浜緑地）

	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	3月	合計
BBQレンタル	区画	26	46	34	31	66	23	13	7	12	258
	人	398	379	447	261	460	160	140	66	54	2,365
水上オートバイ 体験乗船	人	—	10	4	6	8	17	2	—	—	47
DAYキャンプ	区画	9	21	0	3	2	3	1	—	—	39
	人	54	149	0	16	11	53	5	—	—	288

	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3月	合計
ドッグ フリー DAY キャンプ	区画	5	15	6	2	7	5	9	3	1	4	57
	人	32	68	40	15	47	29	52	13	13	19	328

(3) 施設を活用した事業活動

期 日	行事名称	参加者数	前年度
10/6	ファン感謝DAY ワンちゃんと一緒に マリンスポーツ&ドッグランで遊ぼう！	47 (犬34)	28 (犬22)
11/17	二色の浜公園ウォーキングDAY	49	59
1/12・13	新春！お正月イベント 餅つき&ぜんざい作り	58	51
合 計		154	138

2. 特殊小型船舶操縦講習事業（収益事業2）

本事業では、水上オートバイのルールやマナー、操船技術、安全意識の向上に重点をおいた特殊小型船舶の操縦免許取得講習会を実施した。

(1) Maris ジェットスクールの運営事業

① 試験コース

次のとおり講習会を8回開催し、国家試験が21回実施された。

期 日	種 別	場 所	人 数	
			講習	試験
4/10・4/27・5/11・5/22・6/8 6/19・7/13・7/31・8/3・8/28 9/7・9/18・10/2・10/26	特殊小型船舶操縦士試験	二色の浜公園海浜緑地	—	61
4/22	Maris ジェットスクール	二色の浜公園海浜緑地	3	—
5/17・7/10・8/28・11/15	Maris ジェットスクール	桐生ボートレース場	49	—
5/18・7/11・8/29・11/16	特殊小型船舶操縦士試験	桐生ボートレース場	—	53
8/24	Maris ジェットスクール	多摩川ボートレース場	9	—

期 日	種 別	場 所	人 数	
			講習	試験
8/25	特殊小型船舶操縦士試験	多摩川ボートレース場	-	9
8/28・9/13	Maris ジェットスクール・ 特殊小型船舶操縦士試験	新潟県立海洋高校	12	12
合 計			73	135

② 教員育成

一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会が実施する小型船舶教習所教員の初任研修に J P B O T インストラクター 1 名、再研修に職員 1 名が参加した。

3. マリンスポーツ施設の運営事業（収益事業3）

（1）マリンスポーツ関連施設の管理・運営

横須賀市の指定管理施設である深浦ボートパーク、浦賀ボートパークにおいて施設運営管理を行うとともに、利用者に対する安全運航に関する指導や地元自治会と協働して自然観察会、地域住民を対象としたイベントを開催し施設の活性化を図った。

① 施設を活用した事業活動

a. 深浦ボートパーク・クサフグ産卵観察会への協力

実施期日 6月18日（火）

実施内容 ・管理事務所、HP での開催告知
・観察会受付の設置
・参加者への記念品贈呈（市内福祉施設手作りの「トンネルクッキー」）

参加人数 170名

b. 横須賀海の魅力再発見クルーズ

「横須賀市の海の魅力」と「船の楽しさ」を地域住民に体験・体感してもらうことを目的に、横須賀海の魅力再発見クルーズを実施した。

実施期日 4月～10月の第1日曜日

実施内容 ・横須賀の観光名所等を海から巡るコースを策定。
・深浦ボートパークを起点するクルージングの実施（財団所有艇にて）

実施回数 6回（※9月分はうみかぜカーニバル in 深浦開催の為、実施せず）

参加人数 32名

② 施設利用数

（2020年3月31日現在）

	深 浦	浦 賀	計	前年度
係留船舶数	104 隻	59 隻	163 隻	158 隻
駐車場利用台数	14,413 台	4,500 台	18,913 台	15,955 台

Ⅲ その他継続事業

マリンスポーツ競技団体、Maris クラブに対し、活動への支援・協力を行った。

1. マリンスポーツ競技等の環境整備事業

(1) 普及、啓発活動への支援、協力

マリンスポーツの健全な普及を図るための活動に対して支援を行った。

① 競技団体に対する運営支援

支援内容	支援先
運営支援	(特非)日本水上スキー・ウェイクボード連盟 (JWWF)
	全日本学生水上スキー連盟 (JCWSF)
	日本ジェットスポーツ連盟 (JJSF)
	日本パワーボート協会 (JPBA)
運営協力	日本アマチュアボートレース連盟 (JABF)
	日本ソーラー・人力ボート協会 (JSHA)

② その他競技に対する協力

a. 2019-2020 日本パラオ親善ヨットレース (パラオ共和国独立25周年記念)

本レースは、日本とパラオ共和国の外交関係樹立25周年の記念レースとして実施され、マリンスポーツを通じた国際親善及び交流と、海事思想の普及振興に寄与するものとして協力した。

実施期日 2019年12月29日(日)～2020年1月15日(水)

実施内容 ・日本－パラオ間(約3,197km)の外洋ヨットレース
・海洋プラスチック調査

③ 支援競技団体が実施した競技会

a. (特非)日本水上スキー・ウェイクボード連盟、全日本学生水上スキー連盟

期 日	競技会名	場 所	参加者数	前年度
9/5-9/8	第64回桂宮杯	秋田県大潟村	(9大学)	(9大学)
	全日本学生水上スキー選手権大会	(大潟村水上スキー場)	189	173
9/20-23	第65回桂宮杯	秋田県大潟村	70	79
	全日本水上スキー選手権大会	(大潟村水上スキー場)		
合 計			259	252

b. 日本ジェットスポーツ連盟

(a) 全日本選手権シリーズ戦 (クローズドコース競技)

期 日	競技会名	場 所	参加者数	前年度
4/6-7	第1戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	43	63
5/11-12	第2戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	45	71
6/8	第3戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	41	86
6/9	第4戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	77	71
7/6	第5戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	44	103
7/7	第6戦	愛知県蒲郡市(ラグーナビーチ)	73	70
9/14-15	第7戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	87	103
合 計			410	567

(b) テクニカル全日本選手権シリーズ (フリースタイル)

期 日	競技会名	場 所	参加者数	前年度
5/18-19	第1戦	香川県小豆島 (土庄町大部港沖)	9	4
7/20-21	第2戦	神奈川県横須賀市(うみかぜ公園)	7	5
9/14-15	第3戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	10	5
11/23-24	第4戦	千葉県千葉市(フェスティバルウォーク蘇我)	9	3
合 計			35	17

(c) テクニカル全日本選手権シリーズ (アクアボード)

期 日	競技会名	場 所	参加者数	前年度
7/20-21	第1戦	神奈川県横須賀市(うみかぜ公園)	0	6
9/14-15	第2戦	大阪府貝塚市(二色の浜公園海浜緑地)	0	10
9/28-29	第3戦	山梨県山中湖村 (山中湖)	25	0
11/23-24	第4戦	千葉県千葉市(フェスティバルウォーク蘇我)	18	14
合 計			43	30

c. 日本ソーラー・人力ボート協会

期 日	競技会名	場 所	参加隻数	前年度
8/24-25	全日本選手権大会 2019	愛知県碧南市 (日本MB選手会常設訓練所)	17	16

d. 日本パワーボート協会

期 日	競技会名	場 所	参加隻数	前年度
4/14	2019 東京都連盟シリーズ第1戦	茨城県神栖市 (常陸利根川)	21	13
4/14	JPBA AQUABIKE JAPAN CUP 2019 ROUND1	大阪府貝塚市 (二色の浜公園)	32	29
5/19-20	2019 日本グランプリパワー ボートレース in 小豆島	香川県小豆島 (土庄町大部港沖)	48	41
	JPBA AQUABIKE JAPAN CUP 2019 ROUND2		27	6
6/9	2019 東京都連盟シリーズ第2戦	茨城県神栖市 (常陸利根川)	20	15
6/9	JPBA AQUABIKE JAPAN CUP 2019 ROUND3	愛知県蒲郡市 (ラグーナビーチ)	33	10
7/7	JPBA AQUABIKE JAPAN CUP 2019 ROUND4	愛知県蒲郡市 (ラグーナビーチ)	30	8
9/15	JPBA AQUABIKE JAPAN CUP 2019 ROUND5	大阪府貝塚市 (二色の浜公園)	34	7
10/6	2019 東京都連盟シリーズ第3戦	茨城県神栖市 (常陸利根川)	19	15
12/8	第37回芦ノ湖グリーンカップ モーターボートレース	神奈川県箱根町 (芦ノ湖)	60	54
合 計			324	198

e. 日本アマチュアボートレース連盟

期 日	競技会名	場 所	参加者数	前年度
4/28	第23回淡路島 ちどり賞競走第1戦	兵庫県南あわじ市 (浦壁大池)	19	36
5/26	第23回淡路島 ちどり賞競走第2戦	兵庫県南あわじ市 (浦壁大池)	20	—
合 計			39	36

- (3) マリンスポーツ団体に関連する競技者、資格者、競技艇等登録の推移
当財団支援団体の競技者等登録状況は、【参考資料】(P.22) のとおりである。

(4) Maris クラブへの支援

① Maris クラブの主催事業への支援

期 日	行事名称	開催場所	参加者数
5/25-26	マリンスポーツフェスティバル in あいおい	兵庫県相生市	392
6/1-2	横浜開港祭キッズボート体験乗船会	神奈川県横浜市	225
7/14	マリンフェスタ in 小樽	北海道小樽市	228
7/21	石狩川下覧権	北海道砂川市	140
7/27-28	マリンスポーツフェスティバル in いわき	福島県いわき市	997
7/28	ウォーターフェスタ in 小見川	千葉県香取市	荒天中止
7/29	防災フェスティバル	北海道砂川市	63
8/4	うらうす夏の味覚まつり	北海道浦臼町	183
合 計			2,228

② ボランティアネットワーク (Maris クラブの登録・認定)

登録番号	ク ラ ブ 名	会員総数	新規会員	認定年月日
1	Maris クラブ 東 京	18	-	2002年05月02日
3	Maris クラブ いわき	20	-	2004年08月13日
4	Maris クラブ 千 葉	11	-	2011年02月24日
5	Maris クラブ 柏 崎	10	-	2003年12月25日
6	Maris クラブ 大 阪	10	-	2004年01月07日
7	Maris クラブ 愛 知	11	-	2006年06月01日
8	Maris クラブ 広 島	10	-	2004年09月07日
9	Maris クラブ 相 生	18	-	2004年09月07日
10	Maris クラブ 湘 南	16	-	2004年09月14日
11	Maris クラブ 淡路島	10	-	2004年09月14日
14	Maris クラブ 北海道	12	-	2007年11月07日
16	Sea Net 浜松	-	-	2015年06月02日
計		146	0	

第 2 章 組 織

1. 理事会及び評議員会

本年度は、理事会を 3 回、評議員会を 1 回開催した。

(1) 理事会

回	期 日	場 所	議 題
第 21 回	2019 年 6 月 10 日	笹川記念会館 4 階第 6 会議室	(1) 報告事項 会長、理事長、常務理事の職務執行状況報告 (2) 平成 30 年度事業報告及び決算報告(案)の承認について (3) 規程の一部改正(案)について (4) その他緊急を要する件
第 22 回	2019 年 11 月 29 日	書面決議	(1) 2019 年度収支予算の一部変更(案)について
第 23 回	2020 年 3 月 19 日	書面決議	(1) 報告事項 ① 内閣府公益認定等委員会による業務検査の実施結果について ② 2020 年度における理事会、評議員会の開催計画及び審議事項について ③ 会長、理事長、常務理事の職務執行状況報告 (2) 2020 年度事業計画及び予算(案)並びに付帯決議案の議決について (3) 規程の一部改正(案)について (4) 第 17 回評議員会の開催について (5) 資産の運用について

(2) 評議員会

回	期 日	場 所	議 題
第 16 回	2019 年 6 月 26 日	笹川記念会館 4 階第 5 会議室	(1) 報告事項 第 21 回理事会の開催結果及び横須賀市立ボートパークの次期指定管理者への応募について (2) 平成 30 年度事業報告及び決算報告(案)の承認について (3) その他緊急を要する件

2. 役員等の動向

2020年3月31日現在の役員、評議員は別表1. 2 (P. 21)のとおりである。

3. 監査等

本年度は、次のとおり実施された。

期 日	実施者	場 所	内 容
2019年 6月3日	当財団監事	当財団会議室	平成30年度事業報告及び決算
2020年 1月23日	内閣府公益認定等 委員会事務局	当財団会議室	平成30年度の業務及び財産の 状況に関する検査

4. 関係団体との交流

本年度は、関係団体の式典、会議等に役職員が出席し、これらの団体との交流、業界の情報交換等を行い、当財団の円滑な運営を図った。

(1) 関係団体

会 議 等 名	出席回数	内 容
表彰式典等	3	社会貢献者表彰式典2回、優秀選手表彰式典1回

(2) 官庁・海事関連団体等

主 催 団 体	出席回数	会 議 内 容
国土交通省海事局	2	UMI協議会
海上保安庁交通部	6	遊泳事故、PWC、アドバイザー意見交換会等
日本マリン事業協会	3	PWC部会、BJ連絡調整会議
日本海洋レジャー安全・振興協会	1	海の駅ネットワーク
地方自治体等	3	水域利用者等協議会

5. 環境に配慮した活動

環境に配慮した事業活動を行い、業務改善見直しによる省エネ、コストダウンを図るとともに、日常の管理活動を維持、継続することにより職場環境の向上を図り、環境影響への負荷を低減した。

6. 職員等の動向

年度末における職員数は9名（内出向者1名）、職域職員3名、嘱託2名、臨時職員28名であった。

別表. 1

役員名簿（第4期）

2020年3月31日現在

役職名	氏名	所 属
会 長	笹 川 堯	
理 事 長	笹 川 善 弘	
常務理事	岡 村 一 臣	
理 事	松 木 勇	元 ヤマト発動機株式会社 相談役
理 事	中 島 敬 夫	株式会社三益産業 代表取締役
理 事	野 口 旭	元 東京都モーターボート連盟 会長
監 事	竹 内 清 治	元 財団法人競艇振興センター 会長
監 事	大 濱 秀 夫	株式会社新東通信

任期：平成30年6月27日から2年以内に終了する事業年度のうち最終の定時評議員会まで
(令和2年6月)

別表. 2

評議員名簿（第2期）

2020年3月31日現在

役職名	氏名	所 属
評 議 員	梶 原 義 明	元 財団法人日本科学協会 常務理事
評 議 員	笹 川 和 弘	群馬県マリンスポーツ連盟 会長
評 議 員	本 間 徹	特定非営利活動法人 日本水上スキー・ウェイクボード連盟 会長
評 議 員	関 田 宏	元 ヤマト発動機株式会社 常務取締役
評 議 員	北 田 靖 則	公益財団法人献血供給事業団 理事長
評 議 員	糸 川 正 晃	元 衆議院議員
評 議 員	金 子 光 夫	元 公益財団法人マリンスポーツ財団 顧問

任期：平成28年6月24日から4年以内に終了する事業年度のうち最終の定時評議員会まで
(令和2年6月)

参 考 資 料

1 マリンスポーツ競技に係る講習会、登録状況

(1) モーターボート競技関係

① 新規登録者の推移

サーキット・オフショア（日本パワーボート協会）

区 分	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
選 手	17	24	37	14	25

K400クラス（日本アマチュアボートレース連盟）

区 分	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
選 手	28	44	54	8	9

② 選手・競技艇等の登録状況推移

（選手の登録者数）

サーキット・オフショア（日本パワーボート協会）

区 分	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
選 手	223	211	239	248	322

※2019年度はアクアバイク含む

K400クラス（日本アマチュアボートレース連盟）

区 分	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
選 手	245	246	219	249	232

（公認競技員、登録検査員の登録者数）

サーキット・オフショア（日本パワーボート協会）

区 分	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
公認競技員	34	30	29	27	34
登録検査員	29	26	23	23	24
合 計	63	56	52	50	58

K400クラス（日本アマチュアボートレース連盟）

区 分	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
公認競技員	56	53	47	56	45
登録検査員	23	23	20	26	19
合 計	79	76	67	82	64

(競技艇の登録隻数)

サーキット・オフショア (日本パワーボート協会)

区 分	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
OFF シリーズ	30	37	39	41	38
V シリーズ	32	37	36	32	33
F シリーズ	35	33	36	38	27
ハイドロシリーズ	8	4	8	8	10
S シリーズ	1	1	1	1	1
アクアバイク	—	1	8	27	36
合 計	106	113	128	147	145

※各年度 4/1 以降有効だったもの

K400クラス (日本アマチュアボートレース連盟)

区 分	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
K400	137	110	115	123	81

(2) 水上スキー競技関係

① 会員等の登録管理

(会員の登録者数)

区 分	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
一 般	193	212	106	205	260
学 生	255	299	294	294	318
ジュニア	25	22	22	19	18
合 計	473	533	422	518	596

(ジャッジ、ドライバーの登録者数)

区 分	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
ジャッジ	156	156	221	213	274
ドライバー	121	121	196	134	273
合 計	277	277	417	347	547

(3) ジェットスポーツ競技関係

① レーシングライセンス講習会

(新規選手講習会の受講者数)

区 分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
選 手	7	9	7	3	1

(選手の登録者数)

区 分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
プ ロ 級	61	54	54	57	116
A 級	62	88	53	41	
B 級	37	40	33	24	
フリースタイル (P 級)	8	17	19	15	13
アクアボード				22	33
合 計	168	199	159	159	162

※2019年度よりプロ級、A級、B級は統合された。

(競技員、検査員の登録者数)

区 分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
競 技 員	12	13	8	8	5
検 査 員	31	33	23	21	15
合 計	43	46	31	29	20

(競技艇の登録隻数)

区 分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
スキーディビジョン	60	41	31	24	26
スポーツディビジョン	5	5	7	4	5
ランナバウトディビジョン	14	20	14	3	13
ランナバウト1200	0	3	0	1	1
ランナバウト1600	31	24	30	27	28
合 計	110	93	82	59	73

2019年度事業報告書は、以上のとおりです。

2020年3月31日

会 長 笹 川 堯 印

2019年度事業報告書に基づき監査した結果、いずれも事業報告書のとおり
事業が完了したことを認めます。

2020年 月 日

監 事 竹 内 清 治 印

監 事 大 濱 秀 夫 印